

研修を終えて～日野町での研修を終えて思うこと～



商学部 3年 ^{えとう あき} 江頭 秋さん
(千葉県出身)

今回、日野町に来て感じたことは「田舎に住むことの本当の価値はどれくらいのものか」ということでした。普段、首都圏内で生活をしていると、生活の範囲が広がるうえに人と人の距離が遠く感じます。しかし、日野町では、お店、居酒屋、病院すべてが近くにあり、人々が顔と名前をちゃんと覚えておられることが印象的でした。

ホームステイ先の森田さんご夫婦は、子どものように接して下さいました。町の皆さまも気さくに接してくださり、思っていた以上に居心地の良い滞在となりました。中でも私は、ラフティングを体験したことで景色の見え方や川に対する見方が変わりました。またぜひ遊びに来たいと思います。



商学部 3年 ^{きのした さえか} 木下 冴香さん
(東京都出身)

この5日間で一番感じたことは、人と人のつながり、人の温かさです。ホームステイ先の森田さんは2日間だけだったのに、川遊びやオシドリ観察に連れて行ってくださったりと、とても親切にしてくださいました。

また、役場の高橋さんや三好さんには、わがままでラフティングを2回も体験させてもらい、ガイドの皆さんも短い時間でしたが面白い話を聞かせていただいたり、大変優しく接して下さいました。

夜、お酒を飲んだ後、駅で別れるのではなく、家の前で別れていく様子が、なんだかとても素敵なことだと思いました。

初めて来た場所とはとても思えない人情あふれる場所でした。



商学部 3年 ^{はしづめ さとし} 橋詰 怜さん
(東京都出身)

日野町に来て、まず感じたことは「人が少ない」ことでした。根拠を出しても歩いている人がほとんどおらず、朝、利用した東京駅との差に驚きました。

日野町は高齢者の方が多く、周りを見渡せば山と川で田舎を感じさせました。一般的に田舎は「都会に劣るところ」という見方が多いようですが、日野町にはこの町なりの、地域に合わせた行政や商売の仕組みがしっかりと整っており、都会との勝手は違えど住み心地の良い場所になっていると実感し、刺激を受けました。

日野町の皆さま、ありがとうございました。



商学部 3年 ^{つじむら たけし} 辻村 豪志さん
(神奈川県出身)

まず、何より人間の温かみを感じた一週間でした。ホームステイ先でお世話になった坪倉さんをはじめ、ラフティングでサポートしてくださいました素敵な皆さんの温かみは、都会では味わえないものでした。

また、イターンされている高田さんの家で開かれたホームパーティーも、都会にはない地域に暮らす人と人との集いの場としての役割を持っており、とても楽しかったですし、うらやましかったですね。

日野町役場の高橋さんや三好さん、多くの皆さんにとってもお世話になり、とても良くしていただき、本当に、本当にうれしかったです。必ずまた日野町に遊びに来ます。ありがとうございました。



ふるさと川の学び 板井原川で生き物観察会



みんなで採った生き物の生態を学ぶ



捕まえた昆虫を図鑑を使って調べる

夏休みの自由研究などに生かしてほしいと、7月29日、根雨神社横の板井原川で、川辺の生き物観察会が開かれ、町内外から16人が参加しました。

講師は、根雨小学校教頭の神庭賢一さん。「どんな生き物がいるか、川底の石の下を探ってみよう」と話すと、水中メガネをつけた子どもたちは元氣よく川の中へ。「アユがいた」「サワガニがいた」などと歓声を上げながら次々と水生昆虫やサワガニなどを網ですくい上げました。

バケツの中では、サワガニが水生昆虫などを食べる様子も観察でき、神庭さんは「川に出かけて調べることができるのは夏休みならではの。普段もできれば良い勉強になるのだが」と、生き生きと学ぶ子どもたちを見ながら微笑みました。

また今回は水質調査も実施。生き物では、きれいな川にしか生息しない『カワゲラ』を子どもたちが見つけた神庭さんが驚く場面も。薬剤を使ってみると、「比較的きれいな」の判定。「きれいなまま、ふるさとの川を残そう」と神庭さんは子どもたちに訴えました。



おいしい料理と懐かしい話で盛り上がる



望遠鏡をのぞき込む参加者ら

ふるさと日野町で交流にぎやかに ひの郷会主催 星空観望会と日野町出身関西帰省者の集い

ひの郷会会員による大望遠鏡を使った『星空観望会』が、8月11日、役場前駐車場で開かれました。

漆黒の夜空に向けた望遠鏡に参加者は交代でのぞき込み、天の川、夏の大三角、土星の輪といった夏の星座などを見て楽しみました。

生き生きと目を輝かせる子どもたちの様子を見て、同会会員らは「晴れて良かった。ほっとしました」と胸をなでおろしました。

また、8月12日には、山村開発センターで『日野町出身関西帰省者の集い』が開かれ、帰省者や友人らが懐かしい話で交流を深めました。

会は、ちらし寿司や自家製の漬物など料理や飲み物を持ち寄って開催。懐かしい味に舌鼓を打ちました。また、シイタケ農家の廣瀬俊介さん（黒坂）も参加。シイタケの宣伝やシイタケ料理を持参しました。

楽しい時間を過ごした会員らは別れを惜しみつつ、再会を誓いました。